

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年4月5日（金）

2 確認箇所

Eタンクエリア

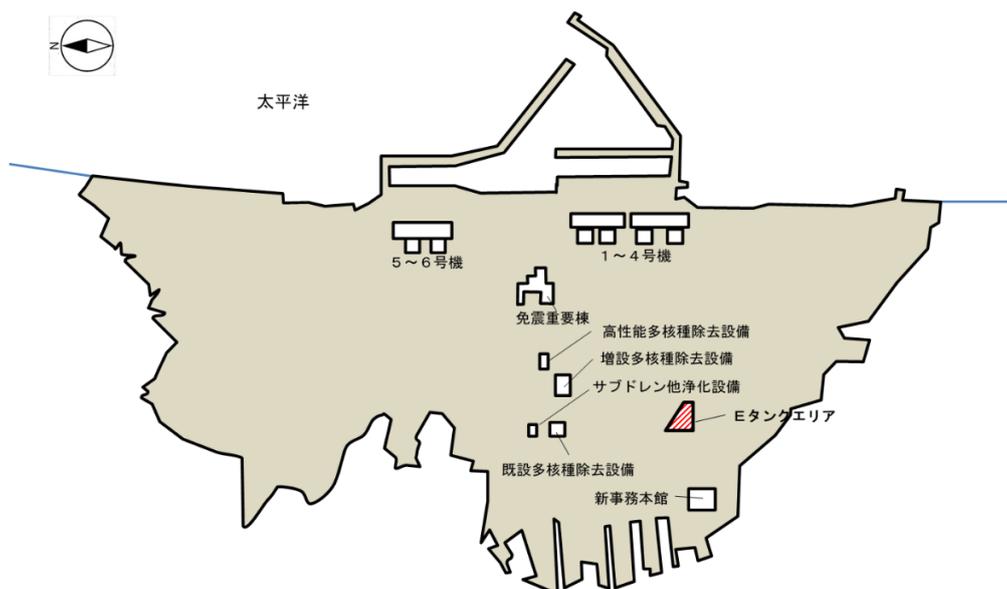
3 確認項目

フランジ型タンク除染解体作業の実施状況

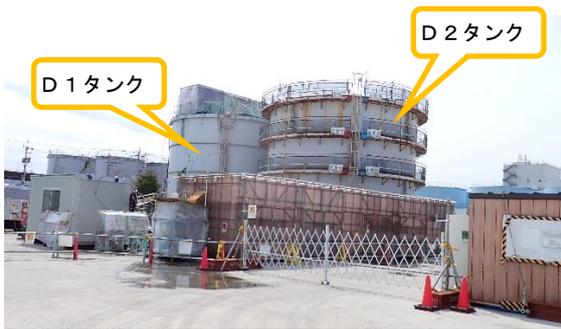
4 確認結果の概要

Eタンクエリアではフランジ型タンクの解体作業が進められており、現在までに全49基中47基の解体が完了している。残る2基のタンク（D1・D2タンク）は底部残水（RO濃縮水）の α 核種濃度が高いことが確認されており、漏えいのリスクを低減するために、タンク内の残水やスラッジの移送後にフランジ型タンクのレーザー除染を行い、解体することとしていることから、その状況を確認した。（図1）（写真1）（前回確認：[令和5年1月20日](#)）

- ・調査当日は、D2タンクの解体準備作業として、ボルトの間引き作業が行われていた。（写真2）
- ・D2タンクのレーザー除染作業は先週完了したとのことであり、D2タンク内からレーザー除染装置が搬出され、シートを掛けられた状態でD2タンク北側に仮置きされていた（写真3）
- ・D1タンクにおいては、作業は行われていなかった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)

D1、D2タンクの概観（北東側から撮影）



(写真1-2)

D1、D2タンクの概観（南東側から撮影）



(写真2)

D2タンクのボルトの間引き作業を行っている様子



(写真3)

シートが掛けられ、D2タンク北側に仮置きされていたレーザー除染装置

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。